
カービィストーリー

Cocoa

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カービィストーリー

【ISBN】

N2893Z

【作者名】

coco a

【あらすじ】

争いも滅多になく……それどころか宇宙規模の侵略すら起つたことのないとんでもなく平和な国、プープランド！主人公・カービィが住民達とワイワイガヤガヤやっていく話！

小説初の投稿です

作者からの注意事項

Coco「」の小説を見た方ははじめまして。Cocoと申します！」

ゼロ「……自己紹介はいからさつと本編に入れ」

Coco「ちょっと待つて。これから読者の皆に説明したいことがあります！」

カービイ「説明したいことって？」

Coco「話がだいたいわかつても何でこんな奴がいる…とかだったら困るでしょう」

カービイ「あー、そつか」

Coco「見事にちゅうじこ例がここだ」

ゼロ「明らかに…な」

Coco「では以下のことをあらかじめ」と承くだせー。」

注意点その1『ダクマ族は味方キャラ』

カービイ「珍しいよねこうこうのつて」

Coco「何故か？理由はただ一つ、ダークマター族が悪役のはワンパターンすぎてクソつまんないから」

ゼロ「そりやお前だけだろ」

ゼロツー「そうでもないかもしないけど……（多分）」

ゼロ「肝心のダクマ族は侵略する気はないっていう設定で」

ゼロツー「それと基本的にダクマ族に似たキャラも同族とさせていただきますのでよろしくー」

注意点その2『作者が出てくる理由』

○○○○○「出るナビツリーツリーホドでもない」

ゼロ「しつじいだらーが。普通小説に出てへるか? 出ないだら?」

○○○○○「だから今回は説明だから……」

ゼロ「かと言ひどりへて紛れて出るんぢやないのか? その後の話にも」

○○○○○「出ませんーそれにウチ(作者)が出てへるつて」とは重大発表があるつてことだからそれだけは理解してへだせこ」

注意点その3『ギャグ(グロ×下ネタ)多め』

カービィ「下ネタの割合高いって」

ゼロ「要するに作者は変入つて『トト』」

○○○○○「アンタに言われたくないし……」

カービィ(星キモツ)

○○○○○「とつあえずはですねよこの子の皆わんは真似しない(言わない)でください』対象のものが多いので……」

ゼロツー「特にこれに関しては『注意ください』」

注意点その4『いろいろと暴走(bu ○○○○○)』

ゼロツー「……それ言つたらおしまいだつて」

○○○○○「頭の回転がフルなんだよー。よくメチャメチャになるけどー(わつぱり)」

ゼロツー(ハツキリ言つちやつたよこの人……)

○○○○○「キャラも暴走し……」

カービィ「たまに『乱心もある……』

ゼロ「かと言つて作者も『乱心になる』ことがある

注意点その5『ストーリー構成について』

カービィ「お話どうすんの？」

Coco「ネタバレになるから言わない」

カービィ「作者ヒドーイー傷つくな！」

Coco「ウンだつてウソ！謝るからビニギのギャル系女子の口調ヤメテ！」

ゼロジー「（ギャル系女子……）で、話は？」

Coco「自分で言うのもなんだけど、最初はクソつまんねえ一話完結の話をさせていただきます」

ゼロジー「CocoさんCocoちゃん。超ヒドーいこと言つちやつたよー」

Coco「（めんなさい）」

ゼロ「もちろんストーリーも考えているよなー？」

Coco「Of course！」

カービィ「狂つてきたのかな……（ぼそつ）」

Coco「ただネタバレになるのでこれは言いません！」

カービィ（ケチだ……）

Coco「あと、場合によって文章の書き方も変わることもあります！作者の気分ではないので（注意を）」

注意点その6『Nero World』

カービィ「何コレ？ゲームでプレイしても出ない単語だけど……」

Coco「多分、ダクマ族をこのよつた設定にする人は少ないのでしうね……別名『ダクマ族家族設定』……」

ゼロジー「家族設定！？」

Coco「ネタバレになるんでこれも言こませんー。」

Zero「お父さんキャラかな……」

Coco「ピンポーン」

Zero「今ので充分ネタバレだよ?」

Coco「あ……」

Karibei「そうなるとZeroは……」

Coco「だいたい想像はつきますよね? 答えはちゃんと書いておくので気になる人は見てくださいねー」

注意点その7『舞台は……』

Karibei「当然……」

All「 PPPLAND! ! ! 」

Coco「…… そつとは限らないけど」

Karibei「え?」

Coco「とりあえず PPPLAND にも設定があつて……」

Zero「もつ読者は知つてるけどな」

Coco「…… です」

Zero「…… んで終わりか?」

Coco「終わりー皆さんどうですか? おわかりいただけましたでしょうか?」

Zero「わかった! つていう人は次からお話になりますので…… 続き行っちゃってください!」

Coco「最初は一話完結型の話になるけどストーリー制の話が出来たら発表します!」

アラカルトはいつも……

ゼロ「ではでは『○○○○aの7ヶ条』を見ててくれた読者の皆さん
大変お待たせしました！」

カービィ「何、○○○○aの7ヶ条つて……」

ゼロ「要するに○○○○aによる教え全7ヶ条だ」

ゼロツー「教えじゃなくて注意事項なんだけど……」

ゼロ「いい。それでいい。少なくとも私はそうとしか認識してない」

カービィ・ゼロツー（トイシひでえ……）

ダークゼロ「初っぱなからきたよ、毒舌みたいなものが」

カービィ「堂々と言えるなあ……」

ダークゼロ「そんなことより作者から伝言つス！」

カービィ「あれ、そんなキャラだっけ？」

ダークゼロ「作者の設定上そんなんだから仕方ないつスよ……」

ゼロツー「（読者の人達を混乱させるつもりかな……）で？伝言つ
て……？」

ダークゼロ「『最初は滅茶苦茶です。ストーリー編出来るまではば
らく温かい目でご覧ください』だつて」

カービィ「お話あるのー？」

ダークゼロ「作者曰く『話がないと小説ではないような気がある』
らしじつスよ」

カービィ「そりゃそうだよねえ……」

ゼロツー「要するにまだ出来てないってことじょ。そのストーリー

一編とやらが

ダークゼロ「ピンローン」

ゼロ「ピンローンじゃねえええええええええええええ！」

ダークゼロ「（ウザ……）えー、これは作者が意図的いやつてるん
よ」

ゼロ「意図的に……？」

ダークゼロ「」の作品ではダクマ族が『メインキャラ』として出てくることスヨ」

ゼロジー「トヨーイ　」

ダークゼロ「（悪役扱こられたから嬉しこんだ……）で、ダクマ族も出てきてよけこじけなになると思つかひ……」

ゼロ「作者が一番じかけにやかけにやだつ…あこいつの脳内思考意味不明！」

！」

ダークゼロ「（文句書こうとしたー…）とつあえず田舎編から始まるつス！」

カービィ「なんで？」

ダークゼロ「ああもうついで読者を混乱させるつもりがアンタ！？」「じつけにやかけにやかけにやになつたじやん…」

ゼロジー「『メン、君の言ひ』ともさういふこと」

ダークゼロ「と、とつあえず……日常編は主にカービィとダクマ族がどんだけ仲がいいのか、つていう感じで」

ゼロ「説明が適当だなお前」

ダークゼロ「…………」

ゼロジー「内容はほほ思に付きで超いいかげん……じゅうぶんヤバいってそれ」

カービィ「仕方ないよ、小説書くのが」の作品で初めてだもん」

ゼロジー「F・i・g・u・t…だね」

ゼロ「マジでクソつまんなかったらボヘイツしてこいから」

カービィ「ボーアって……」

ダークゼロ「とつあえず前置きが長すぎなので始めるつス…」

フフフランド

そこは事件など滅多に起きない場所……
なのでこの国の国民達は、

「あ～……暇……」

大抵はこんな状態である
ただし……こんな人もいる

「うおつやあーーー！」

バリン！

「……………テレビ壊してビリやんの」

「あ」

平凡な日常にあまりふさわしくないこと　テレビを壊すとこう破
壊魔のような行動しているピング王……もといカービィ

「これ使いたいものにならないよ…………」
「ゼロジー…………ものはござれ壊れるものだよ」
「…………名言みたいなこと言つてるけど普通ゲーム中に液晶画面ぶち
壊す人相当いないよ？」

多分こんな人（ ）はいませんね
もつともなことを言つて白い物体……ゼロジー

さつきまでになかつた悲惨な光景をただ見つめるカービィとゼロジー

「ゲームできなくなつたね…………」

「ま、 しゃうがないよ」

ため息をつくカービィだが突然「こんなことをいい始めた

「今日もプロプランドは……平和だよね」

「……だね。なんでいきなり?」

「……なんとなくそう思つただけ」

プロプランドは……ずっと平和……

誰もがそう感じている

ハハハランジほじつむ……（後書き）

終わったなこれ……

ゼロ「当たり前だ。話にすらなってないし途中から壊れただの」

脳内が暴走しました、ハイ

まあ、日常編は基本的こんな感じでこまめにサビをつけておける自信がない……

ゼロ「やつねとストーリー編出せよ」

ハイ……

期待してた皆さんマジで『あんなこと…』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2893z/>

カービィストーリー

2011年12月16日21時45分発行